#### ■ Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

藤さんがJ

頼関係を築けた背景には、三 三藤さんが佐々木さんと信 Aしまね島根おお

若手農家のネットワー

する提案をするまでになった。

藤さんと二人三脚で歩んだこ 期の経営計画を策定した。三 ニンジンの生産を拡大するこ とを決め、機械の導入を含む長 JAへの期待が高まり

販路の開拓や消費動向をつか との交流会を計画しているが む場にすることが狙いだ。 盟友と若手の市場関係者

望をかなえることができた。今

花卉を生産する佐々木さん。 なくて申し訳なかったんです ニンジン、広島菜、スイ ーンなど約八種類の野菜と 標がはっきりしています」 れたので、今では自分の経営 れた。たわいない会話の中か 三藤さんはそれでも通って ヒントを見つけて提案して

地域で営農する同世代と出会

青年連盟の活動で、「異なる

いたい」という佐々木さんの希

とができます」

事務局としてサポー

やすいですね。最初の頃は、せっ

わかり合えない悩みを解決す

青年連盟を勧め

かく来てくれても話すことが

木啓裕さん(25)も、三藤さんが

ので、若い農業者との接点が単

「青年連盟の会議は毎月ある

一六年に新規就農した佐々

ます。それが経営計画の

ベ

C管理者の澤津賀一さんだ。 連盟事務局を兼務する体制を 昨年度から、T 同課課長でTA ACと青年

年以上先を見据えた活動をし 歳を超えるなか、T 「管内農家の平均年齢が七〇 かなければなり

TACについての詳しい情報は、JA全農HPのTAC紹介ページまで



## コーディネートカ×自身の 経験で強力なサポート

三藤さんは、担い手を訪問するなかで、TACのニー スは、JAの営農指導員や行政の担当者などに担 い手の質問や情報を素早く的確につなぎ、多方 面からの回答を整理して伝えることにあると気づ いた。必要に応じて専門知識を持つ人を圃場に 伴って、担い手に紹介することもある。自身は、 10年以上所属した信用部門での経験を生か し、借り入れのさいの経営計画策定などでサ ポート。佐々木さんは、トラクターなどの設備投 資を計画的に進めている。

# JAしまね島根 おおち地区本部

島根県の中央、広島県との境に位置 し、邑智郡邑南町・川本町・美郷町、江 津市桜江町を管内とする。「石見高原ハー ブ米」の『コシヒカリ』と『きぬむすめ』のほ か、白ネギ、ナス、ミニトマト、広島菜を重 点品目として取り組む。花卉は県内品 評会での評価が高い。TACは2 人態勢で100戸の担い手 を訪問する。



## 担い手とTAC "いい関係"の つくり方



イラストはJA全農TAC推進 課と地上編集部によるコラ ボキャラクター「TACマン」

### 日ごろから担い手の 出会いを増やす提案を

同じ地区に同世代や、類似する経営の農家がい ないことが、佐々木さんの不安の原因の一つと考 えた三藤さんは、農機の展示会などのJAの行事 があると、資料を圃場に持参し、口頭で説明して 参加を勧める。営農の都合などで参加できな かった場合は、後日様子を報告しているそうだ。 カラル でいる。 は、地域をまたいで班分 青年連盟の学習会では、地域をまたいで班分 けをするなど、佐々木さんが地域外の仲間を自 然につくれるよう工夫した。



# 会うほどに信頼を深め、 担い手の声をキャッチ!

#### 島根県 JAしまね島根おおち地区本部

現在、そして未来の地域農業を支える担い手。その声を集め、経営に役立つ情報提供や提案、 JA事業への反映を行うTAC (地域農業の担い手に出向くJA担当者)の活動の要は、日々の訪問活動にある。 不安や戸惑いが大きい新規就農者を支えるJAしまね島根おおち地区本部の活動を紹介する。

鈴木千佳=写真 photo by Chika Suzuki JA全農TAC推進課=企画協力





写真左から、三藤さん、佐々木さんの祖父・保男さん(87)、佐々木さん、澤津さん。経営は別だが保男さんも農業を営んでおり、孫は頼もしい存在だ

かがカギになる。

営のビジョンを持てるかどう

将来にわたって営農を続けて 者が着実に増えている。彼らが、

くためには、早い段階で、

本部管内では、ここ数年、毎年

~二人のペ

ースではあるが、

・Uターンによる新規就農

こぼれる不安や本音を聞き漏 ちすぎず、新規就農者の口から 有したうえで、訪問活動を進め 行い、新規就農者の情報を共 就農の担い手を担当している。 ACの三藤晃生さんは、新規 「行政の担当者と毎月会議を JAの営農企画課係長でT

経営体の数は、 案を行うことができるからだ。 課題を共有し、最適な経営提 関係が築かれて初めて、情報や くのは、担い手とTACの信頼 日々の訪問活動に重きを置 Aしまね島根おおち地区 担い手一経営体当たり